



編集・発行： 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内

TEL 273-1111  
内線 4133

## 子どもたちを取り巻くネット環境は 今・・・

今現代の子どもたちにとって、スマートフォン、ゲーム機、タブレット、パソコンなどを使うのは当たり前のことになっており、これらを適切に使っていく力は必要不可欠なものです。

では、ネットについての問題です。

- 1 千曲市で、自分専用のスマホを持っている小学校 6 年生と中学校 3 年生はどのくらいいるでしょうか。
- 2 ネットいじめは、どんな特徴があるでしょうか。
- 3 大人は、ネット環境とどう付き合っていけばよいのでしょうか。



続きは 2・3 ページへ



### 「少年補導委員の活動を通じて」

東小学校区少年補導委員

私は現在、少年補導委員として、少年非行等の問題に対応するため、また、子どもたちの健全育成のために活動しています。日ごろの青パト巡回業務の中で感じることや思い、マスコミ報道から感じること、伝えたいことなど、様々なことがあります。

近年頻繁に耳にする児童虐待は、SNS に起因する被害児童も増え、過去最多となっています。児童虐待は「早期予防・早期発見」がカギになってきます。また、体罰等によらない子育てを心がけることが必要だと思います。早期に状況をオープンにして周りで情報を共有する環境作りが大切だと考えます、

私自身は六十代後半になりましたが、少年時代の懐かしい思い出は今でも鮮明に心に残っています。近くの野山で友達と暗くなるまで遊んだことや、星を見るのが好きで天体望遠鏡で星空を眺めていた星見少年であったことなど。そして、私は今でも、星に魅せられ続けています。天文おやじとして、天体観測や夜空を見上げることが私の楽しみです。

子どもたちにも、このような楽しみを見つけたいと思います。自然や科学、その他いろいろなことに興味を持ち、健全な趣味を持つことが大切であると思います。

子どもたちは、それぞれ自分だけの夢や希望を持っています。私たち大人は、その夢や希望を応援し、サポートしていききたいものです。子どもたちが健全に育つよう、子どもたちによい手本を示し、一緒に努力することで、子どもたちの未来のために貢献することができると思うのです。一人一人ができることから始めてみましょう。



第 3 日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 大人が変われば 子どもも変わる —

千曲市補導委員会では、「ちくま青パト隊」を対象に、子どもたちを取り巻く ICT 環境について、研修会を行いました。現代の青少年の健全育成において、ネットとの付き合いはなくてはならないものだからです。

「子どもとメディア信州」の副代表で、五加小学校長の宮原明人先生から、現況や課題、親子関係について教えていただきました。その中からいくつかを紹介します。

## 中学校3年生は7割がスマホを持っている！

近年、スマートフォンやゲーム機が普及し、コロナ禍の自粛生活も合わせ、自分専用のスマホを持っている小中学生が増えてきました。千曲市では小学6年生の3割、中学3年生の7割が自分専用のスマホを持っています。

また、学校では令和2年度から1人に1台のコンピュータが使えるようになり、学校や家庭で活用されています。



スマホがなくても、ネットにつながるゲーム機を持っている子も多く、子ども同士や大人とネット上でつながるようになってきました。ちくま青パト隊が公園などを巡回しても、公園に集まる子は少なく、あまり子どもたちには会えないのですが、実はネット上で集まっている状況があるようです。

## ネットいじめのきっかけは・・・？

ネットいじめとは、デジタル機器、サイト、アプリなどを使って誰かをおどしたり、危害を加えたり、不安や悲しい気持ちにさせることです。

実は、ネットいじめは、ほんのわずかな一言が発端であることが多いのです。文字だけのやり取りでは、表情やイントネーションなどで、気持ちを伝えることができません。その中で言葉足らずの行き違いや、不安を重ねた思い違いなどがあるといじめにつながってしまうことがあります。ネットいじめは

○ 名前や顔を隠すなりすまし ○ 大勢でひとりをいじめる ○ いつまでも繰り返す  
○ 学校が終わっても24時間いじめる ○ ひろがる 消えない  
などの特徴があります。



違いを認め、否定や攻撃をしないこと、協力するときは力を合わせることに、だれかが悲しい思いをしていたら行動すること、そのような力を普段から育てていきましょう。

# 大人が子どもの見本になる

ネット環境の中で生活しているのは、大人も同じです。子どもは大人の姿を見て、成長していきます。子どもたちは、学校でもネットとの付き合い方について学んでおり、ゲームやスマホを使う時間を決める、食事中はスマホを使わない、人にいやな思いをさせないなど、気を付けています。

その子どもたちの前で、大人が乱れた使い方を見せていないでしょうか。大人も子どもと一緒にメディアをバランスよく使っていくことを心がけましょう。自分の生活では、何が大切なのか、生活が乱れるような使い方はしていないか、**大人が子どもの見本になりましょう。**

スマホから手を離し、絵本の読み聞かせをする、一緒に花づくりや野菜づくりをする、散歩をする、音楽や演劇、スポーツ観戦に出かける、そんな親子の時間が子どもの心に親の愛情が注がれる場となります。このような形で愛情を注がれた子どもたちは、自立の基礎を形成し、健全に育っていくことができるでしょう。



# 久しぶりの夏祭り巡回

コロナで令和2年から夏祭り巡回を3年間行っていませんでした。しかし、今年はお祭りがコロナ前のように行われるということで、7月15日の戸倉上山田温泉夏祭り、8月7日の千曲川納涼煙火大会でちくま青パト隊と少年育成センター事務局職員が巡回しました。

出店もたくさんあり、家族連れや若者のグループなどがお祭りに来て、楽しんでいる様子がありました。また、お祭りが安全に行われるように、地元のみなさん、警察、消防署、消防団の方が警備や見回りをされていました。



## <お知らせ>

選任中であった八幡地区の補導委員が次のように決まり、活動をしています。

選出区 八幡・峯 氏名 原田 紀美子 令和5年6月1日より

☆千曲市ホームページでも情報を公開しています☆

生涯学習課→安全・安心→青少年健全育成事業

「明るい家庭づくり運動の推進」で、**明るい家庭づくりの情報**を月ごとにお届け

「少年非行防止活動の推進」から**育成センターだより**をお読みになれます



# ～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

## 「プロバスケットボールの選手になりたい」 屋代小学校 6年 滝澤 快士

ぼくの将来の夢は、プロバスケットボール選手です。元々バスケットボールが好きで、たくさん試合をしているうちに、「プロの選手になりたい」という夢をもちはじめました。そのために頑張っていることは、ドリブルやシュートの練習です。ドリブルは、試合や試合形式の練習で、もっと積極的にドリブルをして、敵を抜いたり、ボールの運びを安定させたりして完ぺきにしたいです。シュートは、どの場所からのシュートが一番入るかと考えて、スリーポイントシュートの練習をするのがいいと思いました。どの感覚で、どんな力でシュートすれば入るのが分かるようになるまで、いっぱい練習をしたいです。夢に向かって頑張ります。

## 「将来の夢」

## 五加小学校 6年 吉田 愛菜

私の夢は、小学校教師。きっかけは、支援の先生。低学年の時、支援の先生は困っていた友だちを優しく励まし支えていた。それで、小学校教師になりたいと思った。

教師になったら、子どもたちに「なんでそう思うの？」を合言葉に、子どもたちに寄り添い、今以上に笑顔を増やして働きたい。一方で、私が一番なりたくないのは、薄情な人間。自分のことじゃないからいいは、薄情な人だと思う。だから、周囲への思いやりを大切にしたい。

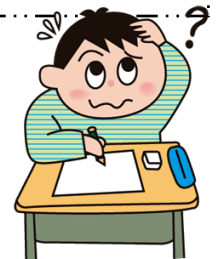
小学校教師になるため勉強や読書、児童会活動を頑張っている。努力を続け、人を優しく励ます教師という自分の夢を叶え、目標を達成したい。

## 「将来の夢」

## 埴生中学校 2年 小林 桃子

私の将来の夢は、ヘアメイクアーティストになって、いろいろな人を笑顔にすることです。私は最近、友達に「髪をしばってほしい。」と言われることが多くなりました。しばり終わった後には笑顔で、「すごい！ありがとう！」と言ってもらったり、「美容師になったら？」と言われてたりします。中学生になってから雑誌を見てメイクに興味をもつようになり、メイクの楽しさや凄さを知りました。そんなとき、「ヘアメイクアーティストになったら毎日きれいな、自分のしたい姿になれる。しかも誰かを笑顔にできるかもしれない。」と思ったのがきっかけです。夢を現実にするため、自分だけでなく友達にも協力してもらい、技術を高めていきたいです。

# 教育相談・生活相談のご案内



千曲市では、次のような相談窓口を開いています。  
ちょっとした不安、疑問、お気軽にお電話ください。秘密は守られます。

### 児童・生徒の教育や発達について

＜市総合教育センター＞  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105  
平日 9:00～17:00

### 青少年の生活について

＜千曲市役所＞  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話 273-1111（内線 4133）  
E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp